

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020200

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	14 芸術・文化の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 芸術・文化活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	陶芸推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	工房利用者への支援及び作陶技術の向上		#N/A	
事業目標	管理体制と愛好者への指導及び普及推進	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催
	事業費(千円)	4,000	800	800	800	800
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	4,000	800	800	800	800
実 績 事 業 費	事業費(千円)	898	898	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	898	898			
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 施設管理と愛好者支援	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	利用者600名	利用者600名	利用者600名	利用者600名
		年度達成率	112%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	22%	22%	22%	22%
	事業進捗状況	☆☆☆				

事業名 陶芸推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	石井弘道
	評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤公輔

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	年間利用者数	
【抱える課題やニーズは】	陶芸愛好者による活動意欲の促進と陶芸工房施設の管理体制	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	文化・伝承活動への促進と陶芸工房施設の管理体制維持を図る	① 年間利用者数	目標年度	平成25年度
			目標値	600人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	陶芸文化の継続と陶芸教室の開設による支援を行う	②	実績値	546人
			達成度	91.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	陶芸活動の推進	産業観光まつり・町民文化祭への出品	目標年度	平成25年度
	陶芸工房施設の管理	施設管理と陶芸愛好者への指導(3名配置、週3回)	目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	芸術文化の伝承活動として根付いており、生涯学習の観点から事業の支援は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	管理体制と愛好者への指導などが継続的に行われ、各イベントへの出展などを通して普及推進に努めている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	計画通りの施設管理と指導体制が定着し、作陶技術も向上している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	施設管理費については町が行い、陶芸活動に対する経費は利用者負担で活動している。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
社会教育活動としての重要施策であり、芸術文化の振興・発展を図るうえで、計画通り事業を進めることができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
安全対策への維持管理や愛好者への指導など、自主的な活動意欲の促進を図りつつ支援していきたい。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止